

住み慣れた地域でみんなと支えあい

佐保地域のみなさま、奈良市若草地域包括支援センターです。

当センターは、油阪船橋商店街にあり、佐保、鼓阪、鼓阪北(青山)地域を担当しています。職員は、看護師1名、社会福祉士2名、主任ケアマネジャー2名、介護予防プラン作成業務のケアマネジャー2名の計7名で、主に介護保険、権利擁護支援、介護予防啓発のことなど、高齢者のみなさまの生活を支えるために日々業務に励んでいます。

若草地域の高齢化率は、佐保は33.6%、鼓阪は42.2%、鼓阪北は44.6%(令和4年



包括センターの皆さん

9月時点)と進んでおり、1人暮らしの方や高齢の夫婦世帯、また、生活困窮やひきこもりの家族、認知症の方も増えています。コロナ禍での外出自粛や運

動量が減ったことで、健康な方が要介護状態となり、介護保険サービスを利用される方もあります。私たちは介護予防の一助となるように、今後も講座開催や情報発信など進めてまいります。

人口が減少する中、地域のみなさまの力で支えあう時代になっていきます。心配な高齢の方がおられる時やご自身の将来に不安がある時、医療・介護・福祉についてのご相談があれば、どうぞご連絡ください。

これからも高齢の方の生活を支えられるように努めてまいりますので、あたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。

佐保ふれあい食堂 広がる輪

開設8か月 480人集う クリスマス、餅つきも

佐保ふれあい食堂は、子ども達を中心に食事や遊び、学びの場を共にし、若者や高齢者まで多様な世代の地域交流の場を目指し、昨年7月にオープンしました。以来8か月、2月までに11回開催され、子ども、大人が延べ297人参加、運営スタッフや来訪者を含めると478人が集う催しとなっています。

夏にはスイカわり、秋にはマンドリン・ギター演奏会、12月にはクリスマス会、1月にはみんなでお餅つきが行われました。3月下旬には地区社会福祉協会と合同でふれあい広場も開催、地域の集う場に定着しています。

皆様、お誘いあわせの上ご来場ください。



学生さんと絵遊び



お餅つき女児も参加



大忙しお餅づくり

佐保ふれあい食堂参加者数

開催日	子ども	大人
7月22日	14	12
8月6日	6	8
8月20日	12	11
9月10日	17	19
9月24日	9	19
10月8日	7	12
11月13日	14	19
12月10日	12	15
12月24日	18	18
1月14日	12	11
2月11日	13	19
計	134	163

次号から新企画

《自治会長さんの一言》

「佐保ひろば」は23号から新企画《自治会長さんの一言》を始めます。2名同時に掲載、町内や地域のことなど自由に記述していただくコーナーです。1人50字程度で募集します。投稿を待っています。

宛先 〒630-8256
奈良市奥芝町3-2
高松 義直

佐保ひろば

一条通り改善 県に要望書

狭い歩道 渋滞 危険な通行 佐保自治連合会 自治会アンケート集計

狭い道路、交通渋滞、危険な通行に陥っている県道谷田線(通称・一条通り)は佐保地区の長年の懸案となっていますが、佐保地区自治連合会(岡崎忠直会長)は昨年末から1月にかけて地区内全76自治会でアンケート調査を実施、その結果を基に、3月13日、奈良県土木事務所を岡崎会長ら役員4人と植村佳史県会議員が訪れ、改善要望書を手渡しました。(写真)



保⑧アクセス道路とのつながり)について回答を求めました。

このうち改善要望が最も多かったのは、歩行者の安全・安心通行で2番は自転車の安全通行、次いで交通渋滞の解消でした。

交通渋滞の改善策としては、道路の拡幅、JR踏切の高架化を求める回答が多く、この2点が一番通り問題の中心課題であることが明確になっています。

県への要望書では、改善要望の上位3課題についての早急な対応を求めました。

◆一条通りアンケート集計

要望の課題	特に要望	要望
1 交通渋滞の解消	17	29
2 車の騒音低減	1	3
3 車の排気ガス低減	0	7
4 歩行者の安全・安心通行	32	27
5 自転車の安全通行	9	45
6 災害時の安全通行確保	0	15
7 生活道路として機能確保	1	22
8 アクセス道路との繋がり	0	14
計	55	167

◆対策についての自由記述

JR踏切の高架化(7)
電柱の地中化(2)
道路拡幅(11)
船橋通の対面通行化(1)
JR奈良駅への新道路(1)
ゾーン30取り締まり強化(1)
デコボコ・段差道路の改修(3)

歩行者の安全安心通行 / 自転車の安全通行 / 交通渋滞解消

佐保まつり今秋開催 実行委刷新、3年ぶり 自治協議会拡大役員会で規約承認

佐保地域自治協議会(岡崎忠直会長)は2月18日、拡大役員会を開き、第3回佐保まつりの今秋開催を決定、実行委員会の新規約、役員幹事人事が承認されました。(2面に規約全文)新型コロナウイルス禍も収まりつつある中、3年ぶりの開催に

踏み切ることになりました。

新規約では、事務局に総務広報担当の幹事長を設け、会計管理、事業計画、会場運営、生涯募金、議事連絡担当の幹事で構成され、広報担当、会場保険担当も置き、事務局会議を必要に応じて開き活動に当たります。

今後の活動は4月の実行委員会運営会議で開催要項などを決めていきます。協賛金募金活動は、新型コロナウイルス対策のマスク解除の5月連休明けごろから始める予定です。

この日は、消防団への金品供与禁止の奈良市通達についても意見交換し、関係団体と協議していくことになりました。また、佐保ふれあい食堂の規約が作成され、スタッフ陣容についての説明がありました。

佐保地域自治協議会

3年ぶり 新年懇親会

佐保地区自治連合会

佐保地域自治協議会、佐保地区自治連合会（いずれも岡崎忠直会長）合同の新年会が2月5日夕にホテル・リガール春日野で開催されました。新型コロナウイルス禍で見送られていましたが、ようやく3年ぶりの顔合わせで、諸団体代表、自治会長ら約40名が出席しました。

岡崎会長は開会あいさつで、自治協議会発足後3年間の歩みとして、佐保ふれあい会館のオンライン予約、ふれあい食堂の開設を挙げ、さらに一条通りの改善運動への取り組みを始めて



新年会で開会挨拶をする岡崎会長

岡崎会長「新たな安心安全課題に取り組む」

いると活動を報告。佐保地域が鴻ノ池運動公園活用や奈良交通の「佐保路」ツアーも始まるなど脚光を浴びつつある中で、この地域を新たな安全安心な暮らしを求めて課題に取り組んでいきたいと抱負を述べました。

今回も奈良出身の歌手・川井聖子さんが艶やかな歌を披露、会場を盛り上げました。

川井聖子さん熱唱



佐保まつり実行委員会 規約

第1条 名称・目的

本委員会は、佐保地域自治協議会（以下「自治協議会」という）内に設置され、佐保地域の居住者・各種団体の交流を目的とする「佐保まつり」の運営を図るものであり、名称は「佐保まつり実行委員会」（以下「本会」とする）とする。

2 本会は、前項の目的を達成するため佐保地域の居住者・各種団体による協働・協調活動に努めるものとする。

第2条 委員会の構成・組織

本会は会長、副会長若干名及び総務広報、会計管理、事業計画、会場運営、渉外募金、議事連絡等を担当する幹事若干名により構成される

2 本会の会長は、自治協議会会長が務めるものとし、本会を代表して会務を統括する。副会長は、会長が欠けたときはその任務を代行する。

3 副会長、幹事は会長が任命する。任期は2年とし、再任は妨げない。

4 幹事による事務局を設置、各幹事は、複数名による運営作業班を組織し、必要に応じて事務局会議を開き活動にあたる。

第3条 会議

本会は、委員会構成員及び関係団体代表者による全体会議を佐保まつり運営の最終決議機関

とする。

2 本会の会議は、会長が招集し、会長が議長を務める。本会の議決は出席者の過半数をもって決定する。

3 会長は、会議の結果を自治協議会役員会に報告するものとする。

第4条 予算・決算

本会の運営経費は、各種団体・法人・個人からの協賛金・募金及びその他の収入を以て充てる。災害等やむを得ない事情で「佐保まつり」が開催できない場合、残金は次年度に繰越できるものとする。

2 決算は、事業終了後2か月以内に行い、自治協議会監事の監査を受け、本会に報告しなければならない。

第5条 事務局

本会の事務局を佐保地域ふれあい会館に置く。

第6条 その他

この規約に定めるものの他に必要な事項は、本会において定める。

附則 この規約は、2023年(令和5年)3月1日から施行する。

佐保小に鼓阪小統合計画

市教委が保護者説明会

過小規模を是正、佐保小建替え

若草中学校区の学校規模適正化を検討している奈良市教育委員会は1月27日に佐保小学校で保護者説明会を開き、佐保小学校と鼓阪小学校の統合案などについての計画を示しました。

鼓阪小学校は現在6学年合計の児童数は86名で4年生は学年で6名の過小規模校となっています。市教委では、一定規模の集団の学びの場の確保、多様な教育活動の展開、集団活動や学校行事の充実を図る教育環境づくりのためには、学校統合が必要と説明。

若草中学校校区には鼓阪北小があり、HOP青山との連携を図り、鼓阪小は佐保小と統合し

令和8年度の開校を目途とし、佐保小校舎を建て替えるとしています。校名は佐保小です。

保護者からは、クラスの人数が増えるが心配ないか、教員は増員されるのか、通学路の安全は確保されるのか、スクールバスはできるのかなどの質問がありました。

市教委は、登下校の安全は地域と協力して考える、スクールバスは総合的に判断し、遠距離通学補助も検討すると回答。

今後、鼓阪、佐保地区で推進協議会を定期的に開催、来年度には教育課程、学校行事など決め、令和6年度から佐保小新校舎工事を予定しています。

生まれ変わる県立大キャンパス

北側にグラウンド 佐保山一帯一望 クラブハウス棟も新設

奈良県立大学(浅田尚紀学長)では大学キャンパスのリニューアル工事の真っ最中です。構内の運動場西側には commons 棟が完成し、講義、ゼミ、クラブの活動が始まっています。その東側にはクラブハウス棟が建設されます。今秋には現在北側にあ



新 commons 棟

る旧校舎の取り壊しが始まり、跡地はいずれグラウンドに整備されるようです。グラウンドから佐保川の桜並木や佐保の山を一望できるようになるかもしれません。令和9年頃には、commons 棟の東側に新しい校舎の建設も予定されています。

佐保地区自治活動記録

1月▽19日=一条通り改善プロジェクト会議▽24日=佐保事務局会議。佐保まつり、新年懇親会、一条通り改善プロジェクト協議▽29日=自治連合会役員会

2月▽1日=佐保、鼓阪地区自治連合会が小学校統合問題で意見交換▽5日=佐保地区新年懇

親会▽18日=自治協議会拡大役員会。佐保まつり実行委員会新規約、人事など承認▽21日=一条通り改善プロジェクト会議。奈良県への要望書案決定。▽26日=自治連合会役員会

3月▽13日=県土木事務所にて一条通り改善要望提出▽17日=佐保まつり事務局会議▽26日=自治連合会役員会



船橋フロム・ワンの2階でマップ作り

*船橋通り商店街で 活性化コラボ「学びの船」 育英高生と県立大生

船橋通り商店街の船橋フロム・ワンで奈良県立大学学生と育英学園高校の生徒が船橋商店街活性化プロジェクトを立ち上げ、共同自習室「学びの船」を開設、商店街情報の発信や商店マップ作りを始めています。メンバーは県立大の神吉優美教授のゼミ学生6名、育英高校の原條靖之先生チームの生徒9名とウェブ・デザイン会社「さとみ」。

共同自習室「学びの船」は毎週火曜日午後4時から8時まで同館の2、3階で開館しています。船橋商店街の横田好弘理事長は、この活動を更なる発展につなげたいとしています。

佐保まちアングル *吉城川防災バイパス工事 佐保自治連合会から感謝状



奈良女子大学北側道路の天平橋と川久保町の間で、大雨時の浸水被害を軽減する工事(吉城川バイパス築造工事)が今年3月17日に完了しました。地下7メートルに推進掘削機を入れ、天平橋までのトンネルを敷設する難工事でした。このほど佐保地区自治連合会の岡崎会長より施工会社の(株)浅沼組現場所長の岡本温氏へ地域防災対策貢献とともに地域への誠意ある対応を高く評価し、感謝状を贈呈しました。(写真右は岡崎会長)